

## 令和3年度四国高等学校卓球選手権大会にあたっての安全対策ガイドライン

### 1. 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

- (1) 顧問は必ず、選手および保護者から大会参加の承諾を取り、校長の責任のもとに申し込みを行う。
- (2) 顧問は自身及び選手の参加者健康調査用紙(様式1)を作成し、大会参加初日に各県専門委員長へ提出するものとする。
- (3) 大会参加2日目以降は、各校顧問が健康状態報告(様式2)を作成し、受付に提出するものとする。
- (4) 発熱等の症状がみられる選手がいた場合、その選手の大会出場は認めない。大会中に關しても各校顧問は選手の健康観察を徹底し、仮に発熱等が見られた場合は速やかに帰宅させること。

### 2. 大会中の具体的な感染症対策

- (1) 無観客試合とし、会場への入場は選手、顧問、帯同審判員、認められた練習パートナー、役員のみとする。
- (2) 会場への入場は学校毎とする。顧問は常に役職者証を、選手はゼッケンを携帯すること。
- (3) 競技会場において、手洗いや咳エチケット(マスクの着用)などの基本的な感染症対策を徹底する。
- (4) 会場出入口には消毒液を設置し、トイレには石鹸を準備する。
- (5) 参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール消毒する。
- (6) 観覧席は密を避けるため、スペースを空けて着席させるとともに、応援は拍手のみとする。
- (7) 定期的に換気を行う。
- (8) 更衣室の利用については短時間・少人数で利用するよう指導する。
- (9) 開会式は簡略化して行う。閉会式は行わない。

### 3. 試合中の具体的な感染症対策

- (1) ベンチにアルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒する。ベンチの消毒は使用者が行う。
- (2) 選手同士および選手と審判の握手は行わない。
- (3) 選手はプレー中大きな声を出すことを慎む。
- (3) タオルや飲料は共有を避け、個人のものを使用させる。
- (4) 日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。